

F-43

## サッカースタジアムを拠点とした周辺地域の整備実態に関する研究

### A Study on Actual Condition of Improvement Surrounding Area Based in the Soccer Stadium

○佐藤利成<sup>2</sup>, 桑田智希<sup>2</sup>, 川島和彦<sup>1</sup>Kazunari Sato<sup>2</sup>, Tomoki Kuwata<sup>2</sup>, Kazuhiko Kawashima<sup>1</sup>

There is the ripple effect to surrounding area with a social and an economic aspect in the soccer stadium. However, in our country, the quiet hours around the soccer stadium and the economic problems on the administration side exist. In this paper, we find a key to solution to problem from the actual condition of improvement around the soccer stadium. This study investigates the actual situation of improvement surrounding area of J League home stadiums in the whole country and clarifies the actual condition of improvement surrounding area based in the soccer stadium.

#### 1. はじめに

Jリーグクラブは地域のサッカースタジアム<sup>(1)</sup>を拠点とし、地域活性を方針に活動しており、実際にホームタウン活動等地域住民に対する社会的影響、ネーミングライツ<sup>(2)</sup>等地域に対する経済的影響を及ぼしている。

このようにサッカースタジアムには地域への波及効果があることが指摘されてきており<sup>1)</sup>地域活性の拠点として整備されていくことが重要であると考えられる。

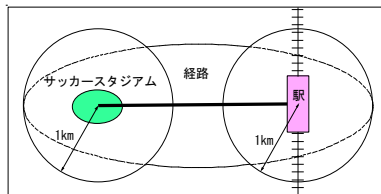


Figure 1. conception diagrams

そこで、今後わが国のサッカースタジアムを地域活性の拠点として考えるうえで、サッカースタジアムを拠点とした周辺地域<sup>(3)</sup>(Figure 1)の整備方を検討していく必要があるといえる。

本研究は、スタジアムを拠点に周辺地域を整備していくようとする地方自治体の指針となることを目標に、全国におけるサッカースタジアム周辺地域の整備を把握するために地方自治体を対象とした文献調査<sup>(4)</sup>および、アンケート調査<sup>(5)</sup>を行い、全国的な周辺整備の現状、及び傾向、地方自治体の課題を抽出し、サッカースタジアム周辺地域の整備実態をとらえることを目的とする。

#### 2. 全国におけるサッカースタジアム周辺地域の整備実態

調査結果から、Jリーグホームスタジアム全40施設のうちアンケート回答が得られた22施設について、周辺整備状況をまとめた(Table 1<sup>(6)</sup>)。サッカースタジアムを拠点と位置付けている事例14件すべてがスタジアムをスポーツ振興の拠点として位置付けており、加えて、地域経済の拠点、憩いの場としての拠点等として位置付けている事例が8件存在した。中でも、スポーツ振興の拠点、地域経済の拠点、地域住民の憩いの場としての拠点と位置付けている札幌ドームは、キッズパーク・商業施設等、複数の施設と複合化し、さらにプロ野球・コンサート等、

多様な用途で利用されているため稼働率が高く、利益を上げている<sup>2)</sup>。現在、スタジアム周辺で行われている整備は人の滞留を処理するための広場の整備のみにとどまっているが、北海道庁は、札幌ドームと相乗効果の発揮できる機能を集積し、スポーツ文化や集客交流産業の振興にかかわる拠点、高次都市機能拠点<sup>(7)</sup>として、整備の方針を策定している<sup>3)</sup>。今後、周辺地域の整備が進むことでさらに周辺ににぎわいがもたらされ、地域活性化効果が期待できる。一方、スタジアムを拠点として位置付けていない事例8件には、スタジアムが住宅街に立地している2件、都市計画マスタープランに位置づけがない熊本県民総合運動競技場、地方自治体の管轄外となる万博記念競技場等があり、スタジアムの周辺整備を行うにあたり、スタジアムの立地、整備計画の根本となる都市計画マスタープランでのスタジアムの位置づけ等が重要であるといえる。

しかしながら、スタジアムを拠点として周辺地域一体をスタジアムと関連して整備している事例は5件と少数にとどまっている(Table 2<sup>(8)</sup>)。これら5件では、それぞれ駅からスタジアムまでの交通施設の整備を行っており、周辺地域一体でスタジアムへのアクセスの充実を図っている点で共通している。アクセスの充実を図ることで、スタジアム、また周辺施設を利用できる機会が増えることが予想でき、スタジアムと関連せず整備を行った事例に比べ、スタジアム活用を意図した整備となっているといえる。そのようななか、フクダ電子アリーナでは、交通施設の整備に加え、民間企業等、複数の組織が周辺地域を開発し、大規模商業施設、スポーツ施設等の整備を行っており、スポーツ振興の拠点としてだけでなく、ショッピングタウンとしても周辺地域の整備が行われている<sup>4)</sup>。千葉市によりスタジアム周辺地域は「蘇我特定地区<sup>5)</sup>」に指定されており、千葉市と都市再生機構、土地所有者であるJFEスチール、民間事業者が三位一体となって開発・まちづくりを推進している。複数の組織が

1 : 日大理工・教員・建築 Associate Professor, Department of architecture CST

2 : 日大理工・学部・建築 Under Graduate Student, Department of architecture CST

周辺地域を整備・開発している点、周辺地域において商業施設の充実を図り地域住民のレクリエーション需要に対応しようとしている点が他のスタジアムと異なり、スタジアム周辺に多機能を集約させるような整備を行った事例もあることがわかった。

一方、スタジアムと関連した計画・構想があると回答した7件において (Table 3<sup>(9)</sup>)、東北電力ビックスワンススタジアムでは、新潟市が「鳥屋野潟南部開発計画」を策定しており、医療福祉、文化・交流、スポーツ等の総合的な機能集積による拠点整備を行っている。地域経済の活性化、にぎわいをもたせる等の目的で交通網の整備、新野球場の設置などの整備が行われ、現在は住宅地や消防局、アイスアリーナなどが計画され、整備中となっている。スポーツ拠点としての役割を活かしつつ、多様性のある施設整備を行っている。NACK 5 大宮では、さいたま市により「スポーツコミッション基本計画<sup>(10)</sup>」が策定され、市によるスポーツイベントの開催を目的に開催場の確保や調整、財政支援やボランティアなどの人的支援を行っている。また埼玉県による計画「ミュージアム・ビレッジ大宮公園<sup>(11)</sup>」では、スタジアムの最寄り駅である大宮公園駅周辺のスポーツ施設や博物館、美術館が鉄道事業者と一体となり、ガイドブックの作成やスタンプラリーを行うなど、ソフト面で情報発信力の強化や地域活性化を図っている。このように、NACK 5 大宮周辺では、地方自治体により、地域資源を活用しソフト面を重視した周辺整備を行っている。

以上のように、スタジアムを拠点として周辺地域一体をスタジアムと関連して整備されている事例は少数にとどまっているものの、フクダ電子アリーナ、東北電力ビックスワンススタジアムでは多様な機能集積を行うことで地域経済の活性化やにぎわいの創出を図っており、サッカースタジアムを有効に活用することが意図されているといえ、わが国において、サッカースタジアムを拠点とした周辺地域の整備が見られ始めていることが明らかになった。

### 3. まとめ

全国的にスタジアムをスポーツ振興の拠点と位置付けている事例は大部分を占めており、加えて、地域経済の拠点、地域住民の憩いの場としての拠点と位置付けられている事例も見受けられる。しかし周辺地域の整備は、大部分のスタジアムで、スタジアムと周辺地域一体で関連がない整備、もしくは交通施設の整備にとどまっている。そのような中でも、スタジアムと周辺地域一体を関連させ整備をおこない始めている事例が少数ながら確認できた。フクダ電子アリーナ、東北電力ビックスワンススタジアム (一部整備中) では、周辺地域における多機能集積により、スタジアムを活用して地域活性を意図した整備が行われているといえる。

今後は、スタジアムを地域活性の拠点として有効活用

していくうえで、スタジアムと周辺地域をどのように関連させて整備を行っていくかが課題であるといえる。

Table 1. J League home stadium summary (22 facilities)

名称 (所在地)	拠点を位置づけ	周辺の整備	スタジアムの整備	駅周辺の整備	整備の経路
札幌ドーム (北海道札幌市)	スポーツ振興の拠点・地域経済の拠点 地域住民の憩いの場としての拠点	◎	◎	◎	◎
NDソフトスタジアム山形 (山形県天童市)	—	—	◎	×	×
ユアテックスタジアム仙台 (宮城県仙台市)	—	—	◎	◎	◎
東立カシマサッカースタジアム (茨城県鹿嶋市)	スポーツ振興の拠点	◎	◎	◎	◎
ケーズデンキスタジアム水戸 (茨城県水戸市)	スポーツ振興の拠点	◎	◎	◎	×
正田醤油スタジアム群馬 (群馬県前橋市)	スポーツ振興の拠点・緑の拠点	◎	◎	◎	×
埼玉スタジアム2002 (埼玉県さいたま市)	スポーツ振興の拠点	◎	◎	◎	◎
NACK5スタジアム大宮 (埼玉県さいたま市)	スポーツ振興の拠点	×	×	×	×
日立柏サッカー場 (千葉県柏市)	—	—	◎	◎	◎
フクダ電子アリーナ (千葉県千葉市)	スポーツ振興の拠点・防災拠点	◎	◎	◎	◎
町田市立陸上競技場 (東京都町田市)	スポーツ振興の拠点	◎	×	×	×
東北電力ビックスワンススタジアム (新潟県新潟市)	スポーツ振興の拠点	◎	◎	◎	◎
山梨中銀スタジアム (山梨県甲府市)	—	—	◎	◎	◎
万博記念競技場 (大阪府吹田市)	—	×	×	×	×
kanooスタジアム (岡山県岡山市)	—	×	×	×	×
広島ビッグアーチ (広島県広島市)	スポーツ振興の拠点・緑の拠点 地域住民の憩いの場としての拠点	◎	◎	◎	◎
ニンジニアスタジアム (愛媛県松山市)	スポーツ振興の拠点・防災拠点	◎	◎	◎	◎
ベストアメニティスタジアム (佐賀県鳥栖市)	スポーツ振興の拠点 地域住民の憩いの場としての拠点	◎	◎	◎	◎
レールファイブスタジアム (福岡県福岡市)	—	—	◎	×	◎
北九州市立本城陸上競技場 (福岡県北九州市)	スポーツ振興の拠点・防災拠点	×	×	×	×
熊本県民総合運動公園陸上競技場(KKWWG) (熊本県熊本市)	—	×	×	×	×
大分銀行ドーム (大分県大分市)	スポーツ振興の拠点 地域住民の憩いの場としての拠点	◎	◎	◎	◎

◎スタジアムの計画と関連した整備をしている ◎整備している ×整備していない

Table 2. The example that is based in a soccer stadium and related surrounding area to soccer stadium (5 facilities)

名称	スタジアム周辺の整備	駅周辺の整備	経路の整備
東立カシマサッカースタジアム	他のスポーツ施設の整備(2施設) 交通関係の整備	貨物専用駅を試合時のみ旅客駅として整備	道路舗装 スタジアムへの誘導措置
フクダ電子アリーナ	他のスポーツ施設の整備(1施設) 商業用店舗の配置(3店舗)	バリアフリー化 駅前広場の整備	歩道拡張 国道横断歩道橋の設置
広島ビッグアーチ	他のスポーツ施設の整備(4施設) 交通関係の整備	駅の設置	新道の整備
ベストアメニティスタジアム	交通関係の整備 緑化 文化施設の整備	バリアフリー化 バスターミナルの整備 駅前広場の整備	道路舗装・バリアフリー化 新道の整備 土地区画整理事業
大分銀行ドーム	他のスポーツ施設の整備(5施設) 商業用店舗の配置(3店舗) 交通関係の整備・緑化	JR高城崎駅構内通路	スタジアムへの誘導措置 (臨時シタイルスの配置等)

Table 3. The example that exist plan or design related to the soccer stadium (7 facilities)

名称	スタジアムと関連した計画・構想
NDソフトスタジアム山形	JR新駅設置計画
NACK5スタジアム大宮	スポーツコミッション基本計画
町田市立陸上競技場	第二次野津田公園整備基本計画の策定
東北電力ビックスワンススタジアム	鳥屋野潟南部開発計画
ニンジニアスタジアム	愛媛国体開催に向けたスポーツ拠点公園の整備
北九州市立本城陸上競技場	新球場整備事業
大分銀行ドーム	都市計画公園 9&1 スポーツ公園

#### 【注釈および参考・引用文献】

- (1) 本研究では、Jリーグ (J1・J2全40チーム) のホームスタジアム全40施設を対象とする。
- (2) 企業がスポーツ施設等の名称に企業名を付けるビジネスであり、その資金が地域のスポーツ振興や市民活動の場として還元されている。
- (3) 本研究では、サッカースタジアム周辺1kmと、アクセス面を考慮しサッカースタジアムの最寄り駅周辺と駅からサッカースタジアムまでの徒歩経路を周辺地域と考える。ここでいう徒歩経路は、Jリーグ各クラブのホームページに記載されているスタジアムへのアクセス方法により決定する。
- (4) 各サッカースタジアムを所有している都道府県、市町村のホームページによる。
- (5) 調査方法: アンケート調査、調査対象: Jリーグホームスタジアムが所在する全40地方自治体、調査期間: 平成24年8月20日から9月10日まで、調査目的: 全国のサッカースタジアム周辺地域における整備計画・整備実態の把握、配布および回収方法: メール、FAX、郵送にて配布および回収。回答数: 22自治体。
- (6) アンケートを元に著者作成。
- (7) 文献(3)より、「国際的・広域的な影響を持って区域の魅力と活力の向上を先導する機能で、都市を補完するものや、都心への立地が必ずしもなじまないものが特徴的に集積する拠点として位置付け、期待される機能が十分発揮されるよう、その育成・整備に努める。」と述べている。
- (8) アンケートを元に著者作成。
- (9) アンケートを元に著者作成。
- (10) 市の計画、スポーツを通じて新たな観光客を獲得するため、市内の施設やボランティアといった地域資源を活用し、開催支援を行う計画。スポーツ振興、地域ににぎわいを持たせる等の目的で計画されている。
- (11) 県の計画、東部大宮公園駅周辺の施設を一体的なエリアとして情報発信力の強化や地域活性化を図る計画を策定している。

- 1) 小野麻美, 有賀隆: 「ホームスタジアムの施設計画と周辺地域への波及効果に関する研究—運営者と地域ボランティアへのアンケート調査を通して—」日本建築学会大会学術講演梗概集, pp99-100, 2008
- 2) 「札幌ドーム」www.sapporo-dome.co.jp/
- 3) 「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」www.pref.hokkaido.lg.jp/file.jsp?id=366260
- 4) 「ハーバーシティ蘇我」http://harborcity-soga.jp/
- 5) 「千葉市ホームページ」http://www.city.chiba.jp